

2017年10月24日

水資源管理に関する世界的な評価格付
「CDP ウォーター2017 A リスト」に初選定

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体である CDP の調査において、水資源の有効な活用や枯渇対策において特に優れた活動を行っている企業として、最高評価にあたる「CDP ウォーター2017 A リスト」に初めて選定されました。

CDP は、持続可能な経済を実現するために、世界の企業や都市の「気候変動対応」や「水資源管理」、「森林資源管理」の対応状況について調査し、その結果を開示している国際 NGO です。今年度の「水資源管理」の項目において、最高評価である A リストに選定されたのは、世界で 73 社、日本で 12 社となり、素材部門においては、当社が国内で唯一の選定となりました。

この度当社が評価されたのは、自社操業時の効率的な水資源の活用や水質改善に向けた取り組み、および水処理問題のソリューションプロバイダとして、製品・サービスを通じて、世界の水不足地域に対して利用可能な水を提供することで、水資源問題の解決に貢献している点であると認識しております。

今後も当社グループは、KAITEKI[※]の実現に向けて、グループの総合力でソリューションを提案し、人・社会・地球が抱える課題解決のために価値を提供する企業グループでありたいと考えます。

※ 当社は、KAITEKI を「時を越え、世代を超え、人と社会と地球の心地よい状態が続いていること」と定義しています。

以上



本件に関するお問合せ先
(株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
電話：03-6748-7140